



熊野中学校長通信 「**がんくま・スクラム**」

校訓：自主自律 生徒版 NO.6 令和8年9月1日号

校教育目標：「前向き Be positive.」

文責：草本



2学期がスタート！～飛躍と成長の2学期に！～

【2学期始業式 校長式辞】

皆さん、おはようございます。まずは、元気に顔を揃え、こうして無事に2学期のスタートを迎えられたことを、大変嬉しく思います。

この夏休み中、皆さんが様々な大会・コンクールで活躍した報告や、日々の練習・勉強に励む姿をたくさん見ることができました。皆さんの成長につながる充実した夏になったことと喜んでいきます。土曜日の環境整備を含め、様々な面で温かく支えてくださった保護者や地域の皆さんに感謝して、2学期を更に充実したものにしていきましょう。

さて、広島では今年の8月6日も、平和記念式典が行われました。終戦から80年以上が経ち、戦争体験者が少なくなる中で、歴史を学び自分の言葉で世界へ発信しようとする若い世代が増えています。「世界平和」と聞くと、大きすぎて自分にはどうしようもないテーマに思えるかもしれませんが、しかし、平和の原点はいつでも「目の前にいる相手を理解しようとする姿勢」にあります。

友達の話最後まで丁寧に「聞いて」みること。

自分の考えや気持ちを、相手を傷つけない言葉で「伝えて」みること。

自分の思いを言葉にして誰かに届ける力、そして違う意見をもつ相手を尊重する力・・・これらは全て、皆さんがこれから大人になり、社会をつくっていく上で最も大切な「生きる力」です。この夏、広島が世界に示した願いを、ぜひクラスや部活動のコミュニケーションの中に活かして行ってほしいと思います。

その他にも夏休みのニュースを見ながら伝えたいと思ったことを3つ伝えます。

1つめは「問いを持ち、仲間と協働して学ぼう」ということです。

先日、中国で始まった「世界人型ロボット運動会」では、100m走の記録が昨年の22秒08から9秒32となり、人間の世界記録を超えたのだそうです。インターネットですぐに答えが見つかり、ロボットが代わりに実行してくれる時代。だからこそ、授業で答えを覚えるだけでなく、「なぜそうなるんだろう？」「どうすれば解決できるか？」と問いをもち、仲間と意見を交わしながら深めることが大切です。2学期そんな授業を、増やしていきたいと思います。

2つ目は「質の高い自主自律を目指そう」ということです。

先日のネパールで起きた巨大な土石流は、映像を見て恐怖を感じた人も多かったと思います。平成30年に熊野町を襲った土砂災害を思うと、決して他人ごとではありません。災害時は「自分の身は自分で守る」という意識をもち「周囲の安全や状況を考えて行動する」ことが重要です。学校生活でも、時間を守る、挨拶をするなどの「当たり前」を、単に「ルールだから」ではなく、「自分や仲間のため、学校を良くするために自ら判断して行動する」という一歩上の「自主自律」に高めてほしいと思います。

最後に「失敗を恐れず、変化を楽しむ「Be positive」の姿勢を自分の成長につなげてほしい」ということです。

社会ではこの暑さを逆にとり、「暑いからこそ、時間帯や仕組みを変えて新しい楽しみや価値を生み出そう！」と、図書館やカフェを「クールシェアスポット」として開放したり、ナイトミュージアムや夜の水族館を実施したりする取組に広がったのだそうです。社会で活躍している人に共通しているのは、変化や課題を「どうやったら乗り越えられるか」と前向きに考え、失敗を恐れず挑戦し続けていることです。2学期は文化祭など、力を発揮する大きな行事があります。真剣に挑戦した上での失敗は大切な「学び」です。前向きなチャレンジをどんどん楽しんでください。

さあ、1年で最も長い2学期です。様々な行事も活かして皆が思いを一つに実り多い2学期にしていきたいと思います。皆さんの活躍と更なる成長を楽しみにしています。